

# 韓国語の「漢語 VN-sikida」の用法と派生上の特徴

—— 2つの語彙調査の結果を中心に ——

尹 亭 仁

## Abstract

In this paper, I conducted a vocabulary survey of the Korean causative verb <VN-sikida> in editorials in *the JoongAng Daily* (2016-20) and novels awarded the *Lee Sang Literature Award* for 30 years (1986-2015), and I examined the characteristics of usages and derivation processes.

Considering the frequency and the status of derivation of <VN-hada> to <VN-sikida>, it became clear that there were many derivations from transitive verbs: the frequency of <VN-sikida> was not high, and the derivation processes were not productive.

Two vocabulary surveys of <VN-sikida> revealed the usages of 535 verbs. The numbers of <VN-sikida> are decreasing year by year, and this can be interpreted as weakening of the function of <VN-sikida> as a causative verb.

キーワード：韓国語、語彙調査、漢語、使役動詞、VN-sikida

## 1. はじめに

韓国語の使役用法および受身用法（以下では、「ヴォイス」と称する）は、日本語のそれに比べると派生関係が非常に複雑である。ヴォイスへの派生の際、語幹をなす動詞が「固有語動詞<sup>1)</sup>」か「漢語動詞」かによって接続する接辞が異なっており、その接辞も複数あるからである<sup>2)</sup>。そのため、日本における韓国語教育の現場では、ヴォイスを中級または上級レベルのクラスで導入するのが一般的である<sup>3)</sup>。筆者の場合は、上級レベルの前期に導入している。

筆者は、漢語を日本における韓国語の語彙教育の1つの軸として位置付け、日韓両言語の共通する漢語がもたらす教育的効果に注目している。本

稿では、韓国語のヴォイスの中で、(lab)のように日韓両言語に対応する共通の漢語と構文があるため比較的韓国語の授業で取り上げやすい「漢語-시키다sikida」に焦点を当ててみた。

- |        |             |   |               |
|--------|-------------|---|---------------|
| (1) a. | 귀국(歸國)-hada | < | 귀국(歸國)-sikida |
|        | 帰国-suru     | < | 帰国-saseru     |
| b.     | 발전(發展)-hada | < | 발전(發展)-sikida |
|        | 発展-suru     | < | 発展-saseru     |
| c.     | 확산(擴散)-hada | < | 확산(擴散)-sikida |
|        | 拡散-suru     | < | 拡散-saseru     |

そして用法を具体的に捉えるべく『中央日報』の社説5年分(2016-20)と『李箱文学賞受賞作品集』30年分(1986-2015、30冊)を対象に「漢語-sikida」の語彙調査を行なった。この調査で使用語数、頻度の高い漢語動詞、派生前の「漢語-하다hada」の品詞など派生上の特徴を浮き彫りにし、得られた結果を韓国語教育に生かしたい。

## 2. 先行研究と本稿の目的

韓国語の漢語動名詞(Verbal Noun、以下では「漢語VN」と称する)について尹亨仁・車香春(2014)は、『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)の見出し語の分析から約6,000語の漢語VNの数値を提示している。とりわけ、2字漢語VNは5,334語で、全体の89.84%を占めている。新聞の社説および小説での使用状況を調べても、2字漢語VNの使用は9割に近い。本稿では、占める比重が圧倒的と言えるこの2字漢語VNに焦点を絞って論をすすめる。

尹亨仁・崔英姫(2018)は、韓国の主要日刊紙の『中央日報』の1年間(2006年)の「社説」に用いられた「漢語VN-hada」の語彙調査から1,560語の2字漢語VNの使用を提示している<sup>4)</sup>。また、尹亨仁(2019)は『李箱文学賞受賞作品集』の10年間(2006-2015)の受賞作品を対象に「漢語VN-hada」の語彙調査を行ない、1,613語の2字漢語VNを使用語彙として取り上げている。

上記の「2字漢語VN-hada」の使用状況に鑑みると、「2字漢語VN-hada」から派生する「2字漢語VN-sikida」の使用の割合も高いと容易に推測でき

る。しかし、尹亨仁(2020:5)によると、「漢語 VN-sikida」の使用語数は多くない。「漢語 VN-sikida」は単独でVNから派生した使役表現を担っているわりには3種類に分かれている受身表現ほど使用語数も使用頻度も高くない。

沖森卓也・曹喜澈(2014:56)で、「一方, 시키다形と게 하다形は生産性があり、さまざまな動詞が取り得る形である。」と述べられているが、筆者はこの「生産性があり、さまざまな動詞が取り得る形」という捉え方にはなほ疑問を抱いている。中島仁(2021:358)でも、「-시키다」は「하다가付くもの多くと交替が可能です。」と述べられているが、筆者はこれにも同意しがたい。筆者は、今までの一連の語彙調査と考察から「하다가付くもの一部だけが交替可能である」と捉えているからである。

尹亨仁(2020)で提示されたように、「漢語 VN-sikida」は1冊の散文からは異なり語数55語(延べ語数76語)、さらに1冊の高校の国語の教科書からは異なり語数13語(延べ語数22語)しか用法が見られなかった<sup>5)</sup>。この数値を見る限り、生産性があるとは言いがたい。

接尾辞「-sikida」は結果が含意されないVNには接続が厳しい。そのため、(2abc)のように多くのVNとは共起できないのである。このような判断は筆者が韓国語母語話者として下したものではあるが、今回の語彙調査の結果からも裏付けられるようになった。

- (2) a. 自動詞から  
 \*돌변(突變)-sikida<sup>6)</sup> / \*실패(失敗)-sikida /  
 \*충성(忠誠)-sikida / \*활약(活躍)-sikida
- b. 自他両用動詞から  
 \*멸시(蔑視)-sikida・\*방황(彷徨)-sikida /  
 \*부탁(付託)-sikida / \*희망(希望)-sikida
- c. 他動詞から  
 \*고찰(考察)-sikida / \*명령(命令)-sikida /  
 \*지배(支配)-sikida / \*칭찬(稱讚)-sikida

「結果の含意」は柴公也(1993:87)で指摘されている「…被使役者の意思を無視する「強制的使役」の場合には自然に使えても、その意思を尊重する「許容的使役」の場合には使いにくくなる。使役者の意思と行動

は表わせても、被使役者のそれは表わせないからである。」と重なるところがある。使役者が使役対象（使役構文で動作を行なう主体）に直接的方法であれ、指示や命令など間接的方法であれ、VNが表わす事態が実現または掌握できる場合のみ-sikidaと共起できるのである。

しかし、「一部の再帰性を持つ動詞の場合、自動・他動に関わらず、「시키다」形が使役を表さず、非再帰性を持つ他動詞として使われる。」のように、「VN-sikida」を文脈の意味から「他動詞」と「使役動詞」に分けることには議論の余地があると思われる。

筆者は今回、『中央日報』『社説』5年分（2016-20）および『李箱文学賞受賞作品集』30年分（1986-2015）のデータを以て語彙調査を行なった。これによって（1）に示した「VN-hada」から「VN-sikida」への派生の様子がより具体的に捉えられると考えたからである。どのような「漢語VN-hada」が「漢語VN-sikida」に派生できるのか、その派生に見られる制約の様子から統語的特徴を明らかにしたい。

### 3. 韓国語の使役動詞と語彙調査の対象

#### 3.1 使役動詞の「漢語VN-sikida」

「漢語VN-sikida」の分析に入る前に韓国語の使役動詞について簡単に整理しておきたい。韓国語の使役動詞の分類についてはいつくかの見方があるが、本稿では尹亨仁（2005）に従い、（3）のような分類に沿って論を進めることにする。

- (3) a. I類の使役動詞：  
     固有語形容詞語幹 } + -이(-히/-리/-기/-(으)우/-구/-추)다  
     固有語動詞語幹 }
- b. II類の使役動詞：  
     動詞・形容詞の語幹 + -게 하다
- c. III類の使役動詞：  
     動詞性名詞 (VN) + -시키다 (-sikida)

本稿で語彙調査および分析の対象にしている「VN-sikida」は（3c）のIII類の使役動詞に分類される。（3c）の中に「노래-sikida（歌わせる）」や「빨래-sikida（洗濯させる）」のように固有語から派生した使役動詞も含まれ

るが、本稿では調査の対象としない。

韓国語学では、南基心・高永根（2014）のように「sikida」形を使役として認めない研究もあるが、日韓対照言語研究においては用語に違いはあるものの、この3種類を認めるのが一般的である。

### 3.2 「漢語 VN-sikida」の語彙調査の対象

ヴォイスへの派生の様子と使用状況を把握するには、規模の大きい特定のテキストを対象とした全数調査が必要である。本稿では、尹亨仁（2020）での漢語ヴォイスの語彙調査から得た示唆を参考に『中央日報』の「社説」5年分（2016-20）と『李箱文学賞受賞作品集』の30年分（1986-2015、30冊）を対象に語彙調査を行なった。尹亨仁・崔英姫（2018）および尹亨仁（2019）の新聞と小説の2つの調査から、調査対象によって使用語彙に偏りがあることが明らかになったため、今回は2種類の調査を同時に行なった。まず、『中央日報』の「社説」5年分（2016-20）の調査の結果から見てみよう。

## 4. 『中央日報』「社説」5年分（2016-20）に用いられた「漢語 VN-sikida」の頻度および特徴

### 4.1 『中央日報』「社説」5年分（2016-20）における使用語数

『中央日報』社説5年分（2016-20）（以下、《中央2016-2020》と略称する）のデータを整理し、「2字漢語 VN-sikida」の頻度調査を行なった結果、延べ語数1,639語、異なり語数683語が得られた。1年間ごとの異なり語数683語を以て再度5年間の異なり語数の調査をし、最終的に329語が得られた。尹亨仁編（2009）に載っている漢語 VN5,334語の約1/16の使用状況である。

〈表1〉《中央2016-2020》にみる「漢語 VN-sikida」の頻度

年	延べ語数	異なり語数1	異なり語数2
2016年	455	166	
2017年	397	162	
2018年	301	137	
2019年	251	112	
2020年	235	106	
合計	1,639	683	329

使用語数の少なさと年々使用語彙が減っている傾向が浮き彫りになった。この傾向は次節で取り上げる『李箱文学賞受賞作品集』30年分(1986-2015)からも見られる。

#### 4.2 頻度の高い「漢語 VN-sikida」と派生関係

《中央2016-2020》で異なり語数329の使用状況を呈していた「漢語 VN-sikida」の上位20位までを〈表2〉に提示する。用法が最も多かったのは自他両用動詞の「통과(通過)시키다」(通過させる)である。

〈表2〉 《中央2016-2020》の「漢語 VN-sikida」の上位20語および語数

順位	2字漢語動詞	漢語 VN-하다 の品詞	延べ 語数	対応する日本語
1	통과(通過)시키다	自他	94	通過させる・通す
2	포함(包含)시키다	他	43	包含させる・含める
3	가중(加重)시키다	他	38	加重させる
4	볼식(拂拭)시키다	他	37	拭きさせる
5	위축(萎縮)시키다	共存	36	萎縮させる
5	증폭(増幅)시키다	自他	36	増幅させる
7	악화(悪化)시키다	共存	35	悪化させる
7	안정(安定)시키다	共存	35	安定させる
9	안심(安心)시키다	共存	32	安心させる
10	발전(發展)시키다	共存	30	発展させる
11	출범(出帆)시키다	共存	29	出帆させる
12	성사(成事)시키다	自他	27	事を成功させる <sup>7)</sup>
13	지연(遅延)시키다	他	24	遅延させる
14	중단(中斷)시키다	他	23	中断させる
15	약화(弱化)시키다	自他	22	弱化させる
16	납득(納得)시키다	他	21	納得させる
16	둔갑(遁甲)시키다	共存	21	変貌させる
18	성공(成功)시키다	自	19	成功させる
18	진정(鎮靜)시키다	他	19	鎮静させる・落ち着かせる
20	충족(充足)시키다	他	18	充足させる・満たす
その他	309語		1,000	
合計	329語		1,639	

〈表2〉で、派生前の「漢語 VN-hada」の品詞からすると他動詞が8語、自他両用動詞が4語である。整理すると、(4ab) のようになる。

(4) a. 他動詞から

가중(加重)시키다 / 납득(納得)시키다 / 불식(拂拭)시키다 /  
지연(遅延)시키다 / 중단(中斷)시키다 / 진정(鎮靜)시키다 /  
충족(充足)시키다 / 포함(包含)시키다

b. 自他両用動詞から

통과(通過)시키다 / 증폭(增幅)시키다 / 성사(成事)시키다 /  
약화(弱化)시키다

(4a) のように「漢語 VN-hada」の品詞として他動詞が多いのは「漢語 VN-sikida」の派生にみる特徴の1つであると言えそうである。(4b) の自他両用動詞の場合、いずれも使役対象がヲ格標示になるので、自動詞から派生したとも捉えられる。また、多くの他動詞からの派生に格標示の交替が見られないことから他動詞からの派生とも捉えられる。

〈表3〉の「VN-sikida」に派生できる「VN-hada」の下位分類の中で、(4) に提示したように他動詞が最も多いが、使役対象がニ格標示される有情物は少ない。すなわち、(5) のような項構造を持つのである。

(5) N-가 N-ヲ VN-hada/sikida

格助詞の交替は見られなく、「N-가 N-ヲ N-hada」の項構造のまま接辞が「-sikida」に替わったものは少なくない。(6) のような他動詞漢語 VN が挙げられる。

- |                |   |              |
|----------------|---|--------------|
| (6) 가동(稼動)hada | < | 가동(稼動)sikida |
| 고정(固定)hada     | < | 고정(固定)sikida |
| 관철(貫徹)hada     | < | 관철(貫徹)sikida |
| 누락(漏落)hada     | < | 누락(漏落)sikida |
| 약화(弱化)hada     | < | 약화(弱化)sikida |
| 왜곡(歪曲)hada     | < | 왜곡(歪曲)sikida |
| 유발(誘發)hada     | < | 유발(誘發)sikida |

주차(駐車)hada < 주차(駐車)sikida…

(6)のVNのリストを見る限り、「-hada」から「-sikida」への交替の統語的根拠を見出すことは難しい。加わるのは接辞の「-hada」と「-sikida」が構文にもたらす含意の違いである。(6)のような「VN-hada」と「VN-sikida」の対からニュアンスの違いを感じない韓国語母語話者はいないだろう。

Kac (1976:234)は、英語動詞の例を挙げながら、使役動詞は行為の性格に関しては模糊としているが、その行為の結果に関しては明らかにしている反面、非使役動詞は行為の性格に関しては明らかにしているが、その結果に関しては模糊していると述べている。宮島(1972:218)もほぼ同様の指摘をしている。筆者は両者の指摘は使役構文が持つ一般的性格を的確に捉えたものだと思っており、この指摘は(6)の韓国語の分析にも役立つ。すなわち、「VN-hada」は「動作主の誰が何を」に焦点が置かれるが、「VN-sikida」は「使役対象の誰が(何が)どうなった」に焦点が置かれる。「VN-hada」が「過程」を捉えているなら、「VN-sikida」は「結果」を捉えているのである。「VN-sikida」構文における使役対象の分析を加えたとこの捉え方はさらに明確になると思われるが、これは稿を改めて取り上げたい。《中央2016-2020》から得られた「漢語VN-sikida」は〈表3〉のように5つの下位分類から派生している。

〈表3〉《中央2016-2020》にみる「VN-sikida」への派生関係

グループ	I	II	III	IV	V	VI
分類→ 一連↓	漢語-하다 (形容詞)	VN-되다 (自動詞)	VN-되다/하다 (共存動詞)	VN-하다 (自動詞)	VN-하다 (自他兩用動詞)	VN-하다 (他動詞)
1	×	각인(刻印)	둔갑(遁甲)	결혼(結婚)	부각(浮刻)	가중(加重)
2	×	고갈(枯渴)	발전(發展)	귀국(歸國)	성사(成事)	납득(納得)
3	×	마비(麻痺)	변화(變化)	근무(勤務)	분산(分散)	불식(拂拭)
4	×	오염(汚染)	분열(分裂)	급등(急騰)	심화(深化)	왜곡(歪曲)
5	×	×	악화(惡化)	낙마(落馬)	약화(弱化)	중단(中斷)
6	×	×	안심(安心)	난립(亂立)	증폭(增幅)	지연(遲延)
7	×	×	안정(安定)	만족(満足)	통과(通過)	진정(鎮靜)
8	×	×	위축(萎縮)	성공(成功)	해방(解放)	충족(充足)
9	×	×	출범(出帆)	실망(失望)	해산(解散)	포함(包含)
10	×	×	탈락(脱落)	휴직(休職)	향상(向上)	확인(確認)



〈表3〉を見れば分かるように、「VN-sikida」は4つの「VN-hada」の下位分類からだけでなく2つの「VN-되다 doida」からも派生している。

Yang (2017 : 353) に「X 시키다」와 대응되는 짝을 확인해 보면 ‘X 하다’ 구성이 ‘X 시키다’ 구성의 가장 빈도수가 높은 대응쌍이고 ‘X 되다’ 구성이 그 다음에 해당한다 [‘Xsikida’ と対をなす語を確かめてみると ‘Xhada’ が最も頻度が高く、‘Xdoida’ がそれに次ぐ（訳は筆者）]と述べられている。これは韓国語母語話者なら容易に気づくことであろう。実際は、‘X하다’にも4種類、‘X되다’にも2種類あるのである。このような下位分類の提示は今回の語彙調査による成果だと思われる。

ここまで、《中央2016-2020》で用いられた「漢語 VN-sikida」の派生について取り上げた。社説5年間の分量にしては「VN-sikida」の派生は予想より少なかった。この調査から母数を大きくしても派生の数はそれほど多くないという示唆を得た。この示唆を次節の『李箱文学賞受賞作品集』30年分（1986-2015）の調査結果と照らし合わせてみたい。

### 5. 『李箱文学賞受賞作品集』30年分（1986-2015）に用いられた「漢語 VN-sikida」の頻度および特徴

『李箱文学賞受賞作品集』30年分（1986-2015）（以下、《李箱1986-2015》と略称する）で、「漢語 VN-sikida」は、〈表4〉のように延べ語数は1,015語、異なり語数は529であった<sup>8)</sup>。傾向を把握するため3期に分けたが、その3期の529語を以て再度異なり語数を調べたところ、369語が得られた。5年間の新聞の社説に用いられた語数より30年間、30冊に載っている264本の短編小説に用いられた「漢語 VN-sikida」の延べ語数が少ないことは予想外だった。

〈表4〉 《李箱1986-2015》にみる「漢語 VN-sikida」の頻度

期	年度	延べ語数	異なり語数1	異なり語数2
第1期	1986-1995	453	252	
第2期	1996-2005	336	162	
第3期	2006-2015	225	115	
合計	30年	1,015	529	369

### 5.1 《李箱1986-2015》における使用語数

《李箱1986-2015》で「漢語VN-sikida」は異なり語数369語の使用状況を呈していたが、《中央2016-2020》と同様に、使用語数が減っていることが分かった。今回の2つの語彙調査から、この減少傾向には接尾辞「-sikida」が持つ「結果の含意」という強い「使役性」のため、この表現が韓国では好まれなくなったのではないかという示唆を得た。使役構文が基本的に「使役対象に何かをさせる（やらせる）こと」であることを考えると、時代にそぐわない表現になっているとも考えられる。

### 5.2 頻度の高い「漢語VN-sikida」と派生関係

《李箱1986-2015》から得られた「漢語VN-sikida」の上位20位までの内訳とそれらの派生関係を見てみよう。漢語VNの意味に新聞と違いがあることが分かる。今回、このように2つの資料を調査対象にしたのは使用語彙の偏りを補うためである。

〈表5〉 《李箱 1986-2015》の「漢語 VN-sikida」の上位 20 語および語数

順位	2字漢語動詞	漢語 VN-하다 の品詞	延べ 語数	対応する日本語
1	연상(聯想) 시키다	他	50	連想させる
2	고정(固定) 시키다	他	42	固定する・固定させる
3	진정(鎮靜) 시키다	他	23	鎮静させる・落ち着かせる
4	안심(安心) 시키다	共存	21	安心させる
5	상기(想起) 시키다	他	18	想起させる
6	연결(連結) 시키다	他	17	連結させる・繋げる
7	확인(確認) 시키다	他	16	確認させる
8	만족(満足) 시키다	自	11	満足させる
8	이해(理解) 시키다	他	11	理解させる
8	충족(充足) 시키다	他	11	充足させる・満たす
11	고생(苦生) 시키다	共存	10	苦勞させる <sup>8)</sup>
11	긴장(緊張) 시키다	共存	10	緊張させる
11	납득(納得) 시키다	他	10	納得させる
11	목욕(沐浴) 시키다	自	10	沐浴させる・お風呂に入れる
11	변화(變化) 시키다	共存	10	変化させる
11	소개(紹介) 시키다	他	10	紹介させる
11	출발(出發) 시키다	自	10	出発させる
11	환기(喚起) 시키다	他	10	喚起させる
19	감동(感動) 시키다	自	9	感動させる
19	격리(隔離) 시키다	他	9	隔離させる
その他	349		697	
合計	369		1,015	

〈表5〉を見ると、「漢語 VN-hada」の品詞に、他動詞が12語で最も多く、  
 自他両用動詞は含まれていない。代わりに「되다/하다共存動詞」が4語  
 ある。整理すると、(7ab) のようになる。

(7) a. 他動詞から (頻度順)

격리(隔離) 시키다 / 고정(固定) 시키다 / 납득(納得) 시키다 /  
 상기(想起) 시키다 / 소개(紹介) 시키다 / 연결(連結) 시키다 /  
 연상(聯想) 시키다 / 이해(理解) 시키다 / 진정(鎮靜) 시키다 /  
 충족(充足) 시키다 / 확인(確認) 시키다 / 환기(喚起) 시키다

## b. 되다/하다共存動詞から（頻度順）

안심(安心)시키다 / 고생(苦生)시키다 / 긴장(緊張)시키다 /  
변화(變化)시키다

《李箱1986-2015》から得られた「漢語 VN-sikida」は〈表6〉のように6つの下位分類から派生している。

〈表6〉 《李箱1986-2015》にみる「VN-sikida」への派生関係

グループ	I	II	III	IV	V	VI
分類→ 一連↓	漢語-하다 (形容詞)	VN-되다 (自動詞)	VN-되다/하다 (共存動詞)	VN-하다 (自動詞)	VN-하다 (自他兩用動詞)	VN-하다 (他動詞)
1	혼란(混亂)	각인(刻印)	감염(感染)	감격(感激)	감소(減少)	고정(固定)
2	×	격양(激昂)	감퇴(減退)	감동(感動)	격상(格上)	납득(納得)
3	×	고갈(枯渴)	개입(介入)	격동(激動)	결석(缺席)	상기(想起)
4	×	마비(麻痺)	격화(激化)	결혼(結婚)	공부(工夫)	소개(紹介)
5	×	오염(汚染)	결렬(決裂)	귀가(歸家)	교체(交替)	연결(連結)
6	×	중독(中毒)	경직(硬直)	대기(待機)	대비(對備)	연상(聯想)
7	×	진척(進捗)	고립(孤立)	동참(同參)	도태(淘汰)	이해(理解)
8	×	충혈(充血)	긴장(緊張)	등장(登場)	마취(麻酔)	진정(鎮靜)
9	×	×	안심(安心)	만족(満足)	분산(分散)	충족(充足)
10	×	×	흥분(興奮)	성공(成功)	약화(弱化)	확인(確認)

《李箱1986-2015》では、形容詞から派生した「혼란(混亂)-sikida」の用法が見られた。(3)で取り上げたように、韓国語のヴォイスの派生には一部の形容詞も含まれる。日本語から考えると不思議な現象に映るかもしれないが、英語のmakeが作り出す多くの形容詞の使役構文を考えると不思議なことではない。また、「혼란(混亂)」は日本語から捉えた場合、漢語VNであるが、多くの場合「混乱している」のように状態を表わす用法で用いられることから動詞と形容詞にまたがる性格を有しているとも考えられる。「VN-doida」からの派生も8語見られた。

次節では、2つの語彙調査から得られた結果と特徴について比較しながら取り上げる。

## 6 《中央2016-2020》と《李箱1986-2015》の共通する語彙と特徴

ここでは、2つの語彙調査から得られた共通する語彙とその特徴について取り上げたい。

### 6.1 共通する語彙

《中央2016-2020》と《李箱1986-2015》に共通する「漢語 VN-sikida」は、延べ語数2,654語、異なり語数535語であった。《中央2016-2020》と《李箱1986-2015》の両方に用いられた VN-sikida は〈表7〉の「납득(納得)시키다」「안심(安心)시키다」「진정(鎮靜)시키다」「충족(充足)시키다」の4語を含め161語であった。

〈表7〉 《中央2016-2020》と《李箱1986-2015》の上位の「漢語 VN-sikida」の比較

順位	2字漢語動詞	延べ語数	順位	2字漢語動詞	延べ語数
1	통과(通過)시키다	94	1	연상(聯想)시키다	50
2	포함(包含)시키다	43	2	고정(固定)시키다	42
3	가중(加重)시키다	38	3	진정(鎮靜)시키다	23
4	불식(拂拭)시키다	37	4	안심(安心)시키다	21
5	위축(萎縮)시키다	36	5	상기(想起)시키다	18
5	증폭(增幅)시키다	36	6	연결(連結)시키다	17
7	악화(惡化)시키다	35	7	확인(確認)시키다	16
7	안정(安定)시키다	35	8	만족(滿足)시키다	11
9	안심(安心)시키다	32	8	이해(理解)시키다	11
10	발전(發展)시키다	30	8	충족(充足)시키다	11
11	출범(出帆)시키다	29	11	고생(苦生)시키다	10
12	성사(成事)시키다	27	11	긴장(緊張)시키다	10
13	지연(遲延)시키다	24	11	납득(納得)시키다	10
14	중단(中斷)시키다	23	11	목욕(沐浴)시키다	10
15	약화(弱化)시키다	22	11	변화(變化)시키다	10
16	납득(納得)시키다	21	11	소개(紹介)시키다	10
16	둔갑(遁甲)시키다	21	11	출발(出發)시키다	10
18	성공(成功)시키다	19	11	환기(喚起)시키다	10
18	진정(鎮靜)시키다	19	19	감동(感動)시키다	9
20	충족(充足)시키다	18	19	격리(隔離)시키다	9

新聞と小説に用いられる漢語 VN の意味的分布に違いがあることが分かる。また、延べ語数において、新聞の方が1,639語で小説の1,015語より「VN-sikida」を多く用いている。小説の方は、延べ語数は少ないが、異なり語数は369語で新聞より多い。テーマが多岐にわたっているとも言えそうである。小説において「漢語 VN-sikida」の使用はテーマとも関係があり、2015年の作品集を例にすると、延べ語数52語（異なり語数26語）の中で、「고정(固定)시키다」が18回も用いられ、《李箱1986-2015》で頻度2位になっている。

## 6.2 「漢語 VN-hada」の品詞と割合

《中央2016-2020》と《李箱1986-2015》に共通する「漢語 VN-sikida」の異なり語数535語の派生前の「漢語 VN-hada」の品詞を分類したのが〈表8〉である。

〈表8〉 異なり語数535の「漢語 VN-hada」の品詞の分布

グループ	品詞分類	語数	割合(%)
I	漢語-하다 (形容詞)	1	0.19
II	VN-되다 (自動詞)	8	1.5
III	VN-되다/하다 (自動詞・共存動詞)	113	21.12
IV	VN-하다 (自動詞)	124	23.18
V	VN-하다 (自他両用動詞)	71	13.27
VI	VN-하다 (他動詞)	218	40.74
		535	100.00

今回の「VN-sikida」の語彙調査に形容詞から派生した「혼란(混亂)-sikida」が含まれていたことは意外であった。VNの「혼란(混亂)」は日本語の分類では自動詞であるが、韓国語の分類では形容詞である。このように、日韓両言語において同じ漢語 VN に見えても品詞分類が異なっているものについてはいくつかの論文で取り上げられている。例を挙げると(8ab)のようなものがあるが、「漢語+하다」の全体数からすると多くない。これより多いのは、日本語は漢語名詞なのに韓国語は漢語 VN の場合である。これについては注7で少しばかり取り上げた。

- (8) a. 日本語は「漢語VN」⇔韓国語は「漢語形容詞」  
 傑出する(傑出하다<sup>9)</sup>) / 混雑する(混雜하다) /  
 徹底する(徹底하다) / 不足する(不足하다) …
- b. 日本語は「漢語形容詞」⇔韓国語は「漢語VN」  
 奢侈だ(奢侈하다) / 果斷だ(果斷하다) /  
 誇大だ(誇大하다) / 過剰だ(過剩하다) …

【グループⅡ】の「VN-doida」の場合、この類も多くなく、筆者が集めた数では20語以下である。これは尹亭仁(2020)で取り上げられたように、【グループⅢ】の「VN-doida/hada」の中から、状態変化動詞として定着したと思われる類である。今回の《中央2016-2020》では4語の用法が見られ、《李箱1986-2015》では8語の用法が見られた。(9)のように同じ助詞の重複を避けるために項構造の変化があったと考えられる。日本語の状態変化を表わす「N-ニなる」構文に対応する韓国語の構文で、助詞は主格助詞の「가ga/이<sup>10)</sup>」と同様に「가/이」が用いられる。韓国語学ではこの「가/이」を「補格助詞」と呼んでいる。日本語の「二重ヲ格制約」と重なるところがある。

- (9) N-가/이 NV-가/이 doida > N-가/이 VN-doida  
 N-ガ VN-ニ なる > N-ガ VN-ニ なる

例で示すと、(10ab)のようになる。

- (10) a. 눈이 충혈이 되다 > 눈이 충혈되다  
 ?目が充血になる > 目が充血する
- b. 교통이 마비가 되다 > 교통이 마비되다  
 ?交通が麻痺になる > 交通が麻痺する

【グループⅡ】を整理すると、(11ab)のようになる。

- (11) a. 「VN-sikida」に派生形を持つ「VN-doida」  
 각인(刻印)・격양(激昂)・고갈(枯渴)・마비(麻痺)・오염(汚染)・  
 중독(中毒)・진척(進陟)・충혈(充血)

## b. 「VN-sikida」の派生形が厳しい「VN-doida」

모순(矛盾)・발각(發覺)・실종(失踪)・혼선(混線)・홍조(紅潮)

今回の調査で少なくとも(11a)の8語は頻度は高くないにしても文脈があれば、「VN-sikida」形が取れることが分かった。(11b)も【グループⅡ】に属するが、「VN-sikida」への派生は厳しいと思われる。【グループⅡ】が全体として「状態変化動詞」であっても、(11b)は「状態変化」が完了したとも受け取れる。すなわち、「矛盾」や「發覺」「失踪」は状態変化が明らかであるために用いられるVNである。今回の調査で用例にはなかったが、【グループⅡ】に「실각(失脚)」がある。これは状況によって、すなわち強い力が働いてその座にいる人(使役対象)を退陣させるような事態が発生した場合「실각(失脚)-sikida」は用いられると思われる。

今回の調査で最も注目すべきところは【グループⅢ】の存在である。通常は自動詞として【グループⅣ】に分類される類である。【グループⅢ】は述語のグループの中で最も捉えにくいため、従来日韓両言語の対照研究の中で多く取り上げられてきた。【グループⅢ】については次節で取り上げる。

【グループⅣ】は自動詞、【グループⅤ】は自他両用動詞である。【グループⅥ】は他動詞であり、「VN-sikida」に占める割合が最も高い<sup>11)</sup>。これは〈表2〉と〈表5〉からも確認できる。

### 6.3 【グループⅢ】の「漢語 VN-doida/hada 共存動詞」と「漢語 VN-sikida」への派生

筆者は20年以上、この【グループⅢ】の用法に注目している。まずは【グループⅢ】のリストと共通性を見出すための一定の語数が必要だと思い、『東亜新国語辞典』第5版(1989/2003)を調べ、600語以上の存在を確認した。中には(12abc)のように実際用例が見られるものから(12d)のように理解語彙としても厳しいものも載っていた<sup>12)</sup>。筆者はこの【グループⅢ】を「doida/hada 共存動詞」と呼んでいる。

- (12) a. 頻度の高い共存動詞で、主に「VN-hada」で用いられる場合  
가입(加入) / 개입(介入) / 격감(激減) / 몰락(沒落) /  
반발(反撥) / 발생(發生)...



- b. 頻度の高い共存動詞で、主に「VN-doida」で用いられる場合  
감염(感染) / 고립(孤立) / 과열(過熱) / 둔화(鈍化) /  
마모(磨耗) / 만료(満了) …
- c. 頻度の高い共存動詞で、「VN-hada」も「VN-doida」も取り得る場合  
긴장(緊張) / 대응(對應) / 변모(變貌) / 부패(腐敗) /  
분열(分裂) / 흥분(興奮) …
- d. 頻度の低い共存動詞  
가점(可點) / 교호(交互) / 급전(急轉) / 낙반(落盤) /  
낙성(落城) / 대위(代位) / 둔좌(頓挫) / 모진(耗盡) /  
붕락(崩落) / 산견(散見) / 삼출(滲出) …

(12abcd) の中でまだ議論が続いているのは (12c) の用法である。筆者はこの「共存動詞」、とりわけ (12c) の用法が見られる「긴장(緊張)-doida/hada」と「흥분(興奮)-doida/hada」の用例を以て分析を試みているが、全体として「긴장(緊張)-hada」と「흥분(興奮)-hada」の用例が多く、連体形の場合は「긴장(緊張)-doida」と「흥분(興奮)-doida」が用いられる傾向の把握にとどまっている。これは日本語を母語とする韓国語学習者による母語干渉が頻繁に起きている用法である。

## 7 語彙調査から見えてきた「VN-sikida」の語彙的・統語的特徴

### 7.1 「基本漢語動詞1000」と「VN-sikida」

筆者は、『中央日報』の「社説」1年分(2016年)と『李箱文学賞受賞作品集』(2006-2015)の語彙調査から得られた918語の共通する2字漢語VNに韓国と日本で使用されている韓国語テキストなどから拾い上げた頻度の高い漢語VNを加え、「韓国語教育に必要な基本漢語動詞1000」を確定している。この「基本漢語動詞1000」に「VN-sikida」への派生関係を加え、上級の授業で活用しようとしていた。しかし、今回の2種類の語彙調査から得た535語の場合、派生前の動詞が(13)のように「基本漢語動詞1000」に含まれるものが241語、(14abc)のように含まれないものが294語であった。それには(14a)のような【グループⅠ】の形容詞、(14b)のような【グループⅡ】の「VN-doida」、(14c)のような【グループⅢ】の共存動詞の存在があるからである。特に【グループⅢ】の共存動詞の場

合、(14c)のように「VN-doida」で用いられる語も多いため、「基本漢語動詞1000」に含まれていない。韓国語の授業で「基本漢語動詞1000」から約1/4の「VN-sikida」の派生関係を提示しても「VN-sikida」の特徴がつかめないため、学習効果は期待できないと思われる。これより〈表7〉のリストが効果的であると判断し、(1abc)に加え、今提示方法を模索している。

- (13) 감격(感激) / 감동(感動) / 공부(工夫) / 납득(納得) /  
노출(露出) / 대비(對備) / 독립(獨立) …
- (14) a. 혼란(混亂)  
b. 각인(刻印) / 격양(激昂) / 고갈(枯渴) / 마비(麻痺) /  
오염(汚染) / 중독(中毒) …  
c. 감염(感染) / 격화(激化) / 결렬(決裂) / 고립(孤立) /  
당선(當選) / 무산(霧散) …

## 7.2 「VN-sikida」と他動詞との関係

ここまでの考察から「VN-sikida」への派生が「VN-hada」の使用頻度と相関関係が低いことが分かった。この傾向を《中央2016》と《李箱文学賞10年》を以て再度確かめたい。

〈表9〉  
《中央2016》の上位20語の2字漢語VNの「VN-sikida」への派生の有無

順位	漢語動詞	品詞	対応する日本語	派生の有無
1	주장(主張)하다	他	主張する	無
2	요구(要求)하다	他	要求する・求める	無
3	발생(發生)하다	共存	発生する	有
4	발표(發表)하다	他	発表する	無
5	기대(期待)하다	他	期待する	無
6	제시(提示)하다	他	提示する	無
7	거부(拒否)하다	他	拒否する・拒む	無
8	강조(強調)하다	他	強調する	無
9	선언(宣言)하다	他	宣言する	無
10	강화(強化)하다	他	強化する・強める	有
11	포함(包含)하다	他	含める	有
12	반대(反對)하다	自他	反対する	無
13	조사(調査)하다	他	調査する・調べる	無
14	인정(認定)하다	他	認定する・認める	無
15	고려(考慮)하다	他	考慮する	無
16	결정(決定)하다	他	決定する・決める	無
17	설명(説明)하다	他	説明する	無
18	관련(關聯)하다	共存	関連する・関わる	有
19	추진(推進)하다	他	推進する・進める	無
20	검토(檢討)하다	他	検討する	無

尹亭仁・崔英姬 (2018)、p. 137より引用し、品詞欄を加えた。

「VN-sikida」に派生した535語のうち、4割を超える218語の他動詞の用法が見られたが、新聞記事からは「강화(強化)하다」と「포함(包含)하다」の2語しか含まれていない。

〈表10〉

〈李箱文学賞10年〉の上位20語の2字漢語VNの「VN-sikida」への派生の有無

順位	漢語動詞	品詞	対応する日本語	派生の有無
1	시작(始作)하다	他	始める	無
2	대답(對答)하다	自	答える	無
3	기억(記憶)하다	他	記憶する	無
4	이해(理解)하다	他	理解する	無
5	도착(到着)하다	共存	到着する・着く	無
6	확인(確認)하다	他	確認する・確かめる	有
7	상상(想像)하다	他	想像する	無
8	발견(發見)하다	他	発見する・見付ける	有
9	결혼(結婚)하다	自	結婚する	有
10	설명(説明)하다	他	説明する	無
11	존재(存在)하다	自	存在する	無
12	정리(整理)하다	他	整理する・片付ける	無
13	반복(反復)하다	他	反復する・繰り返す	無
14	짐작(斟酌)하다	他	推量する・推測する	無
15	준비(準備)하다	他	準備する・支度する	有
16	전화(電話)하다	自	電話する	無
17	선택(選擇)하다	他	選択する・選ぶ	無
18	인사(人事)하다	自	挨拶する	有
19	사용(使用)하다	他	使用する・使う	無
20	인정(認定)하다	他	認定する・認める	有

尹亭仁 (2019)、p. 9より引用し、品詞欄を加えた。

小説の場合、新聞記事と違って「발견(發見)하다」「인정(認定)하다」「준비(準備)하다」「확인(確認)하다」の4語の他動詞の用法が見られた。同じく他動詞と分類されても「VN-sikida」への派生にばらつきがある。これを正確に捉えるには「VN-sikida」構文においてヲ格標示される「使役対象」の分析が必要であるが、本稿での考察の範囲を超えるため、別稿に譲りたい。

今回の2種類の「VN-sikida」の語彙調査から、「VN-sikida」の使用頻度は高くなく、「生産的」とは言えない派生過程を呈していることが明らかになった<sup>13)</sup>。また、他動詞からの派生が多いことと(5)の項構造の分析が不可欠であることが分かった。

## 8 終わりに

本稿では、『中央日報』の「社説」5年分(2016-20)と『李箱文学賞受賞作品集』の30年分(1986-2015)を対象に韓国語の「漢語 VN-sikida」の語彙調査を行ない、使用状況および派生上の特徴について考察した。

『中央日報』「社説」5年分(2016-20)からも『李箱文学賞受賞作品集』30年分(1986-2015)からも、年々使用語数が減っていることが確認された。これは「VN-sikida」が使役動詞としての機能が弱まっていると受け止められる。今回用法が見られた異なり語数535語を含め、派生可能性があると思われ、予想する漢語VNを合わせて分析することで「VN-sikida」が持つ使役動詞としての機能が明確になると思われる。

本稿で「漢語 VN-sikida」について、頻度調査および派生前の「VN-hada」の下位分類と「VN-sikida」への派生状況までは取り上げることができたが、使役対象の格標示や使役対象の有情・非情の区分などについては考察できなかった。今後の課題にしたい。

\* 謝辞：本研究は、JSPS 科研費19K00775（研究代表者：尹亭仁）の助成を受けたものである。

## 注

- 1 日本の「和語」に相当するものである。
- 2 一部の形容詞も使役動詞に派生できる。
- 3 日本の韓国語教育において、ヴォイスの体系的指導は難しいのが現状である。テキストが初級から上級まで出ている李昌圭の場合、上級(2008)で「-게 하다 gei hada」の使役用法のみが取り上げられている。シリーズで第4巻まで出ている油谷・南(2001-2004)では、本稿で取り上げる「漢語 VN-sikida」の用法は見当たらず、第4巻(2004)で固有語の使役動詞の一部が取り上げられている。
- 4 張志剛(2014)は『読売新聞』(2010年)に用いられた漢語動詞を調べ、4,383語の2字漢語VNを取り上げている。
- 5 国語の教科書に載っている13語のVNは下記のようなものである。「VN-sikida」の用法を知る上で必要だと思い、全部提示する。공부(工夫)・만족(満足)・발전(發展)・변신(變身)・변화(變化)・실망(失望)・안심(安心)・연상(聯想)・연소(燃燒)・이해(理解)・입원(入院)・충족(充足)・해방(解放)。
- 6 \*は当該のVNが成り立たないことを表す。
- 7 「성사(成事)하다」に対応する日本語の漢語VNはなく漢語名詞の「成事」はある。このように、韓国語では漢語VNであるが、日本語では漢語名詞の対応が500語以上ある。「營為」「英斷」「犧牲」「試凶」「失政」「失点」「事業」「不信」「不買」「不

変」「不減」などが挙げられる。

- 8 韓国の国語辞典、例えば『東亜新国語辞典』第5版(1989/2003)、『標準韓国語大辞典』(インターネット版)にこの「苦勞する」に対応する「고로(苦勞)하다」が載っているが、使用語彙はおろか理解語彙としてもこの漢語動詞を用いる韓国人はいないと思われる。韓国の国語辞典にはこのような類の漢語VNが多く載っている。
- 9 韓国語の述語の語尾はいずれも「-다da」または「-하다hada」で終わる。特に漢語名詞から派生した「漢語形容詞」と「漢語動詞」は「漢語-hada」になるため、基本形からは品詞の判断が難しく、連体形に品詞の違いが現われる。しかし、「形容詞-hada」の連体形は「動詞-hada」の過去連体形と同じ形態を取るため、これも初心者には難しいところである。当然ながら「漢語形容詞」は命令形は取れない。
- 10 接続する体言が母音で終わる場合は「가」、子音で終わる場合は「이」が用いられる。
- 11 筆者の私家版の「韓日漢語動詞7000」(2020)によると、他動詞が占める割合は52.6%である。母数の規模や分類の曖昧さなどにより多少の変動はあり得るが、他動詞が最も多いことに変わりはないと見られる。他動詞の多さは自動詞の少なさと相関関係にある。本稿のいくつかの表で示したように、韓国語には自他両用動詞も少なくなく、共存動詞(自動詞)もあるため、相対的に他動詞の語数が多くなっている。
- 12 ここでの頻度は、筆者が新聞記事、小説、雑誌などから集めている「되다/하다共存動詞」の用例の多さから判断したものである。中には『東亜新国語辞典』第5版(1989/2003)に見出し語として載っているが、用例が見当たらない語も多々ある。
- 13 早津(2016)で、使役構文の分析に【基本資料】として用いられた「印刷された書籍による小説・随筆・評論などの計88編」から得られた使役動詞の用例数は約8700例であると提示されている。実際本文の中に取り上げられた用例を見ると、正確にカウントしたわけではないが、漢語使役動詞は和語使役動詞より少ない。尹亭仁(2022)の日本語の動詞の語種の簡易調査によると、漢語動詞は非漢語動詞より語数が多い。にもかかわらず、用いられている用例から漢語動詞の使役形が少ないことは漢語が持つ性質と関係があるかもしれないとの示唆を得た。

## 【参考文献】

- 李昌圭(2008)『韓国語上級』白帝社
- 沖森卓也・曹喜澈(2014)『韓国語と日本語』朝倉書店
- Kac Michael B.(1976)“On Composite Predication in English”, *Syntax and Semantics* 6, Academic Press, inc.
- 柴公也(1993)「『漢字語+시키다』について—再帰性・他動性・使役性・受動性との関りをめぐる—」『朝鮮学報』144, pp. 87-150
- 張志剛(2014)『現代日本語の二字漢語動詞の自他』くろしお出版
- 中島仁(2021)『これからわかる韓国語文法 入門から上級まで』NHK出版
- 南基心・高永根(2014)『標準韓国語文法論』第4版 図書出版 박이정:ソウル
- 早津恵美子(2016)『現代日本語の使役文』ひつじ書房
- 宮島達夫(1972)『動詞の意味・用法の記述的研究』秀英出版

- Yang Jeongho (2018) 「접미사 ‘시키다’ 와 관련된 몇 문제」 『宋喆儀先生退任記念國語學論叢』 pp. 345-368、태학사：ソウル
- 油谷幸利・南相環 (2001) 『総合韓国語1』 白帝社
- 油谷幸利・南相環 (2002) 『総合韓国語2』 白帝社
- 油谷幸利・南相環 (2003) 『総合韓国語3』 白帝社
- 油谷幸利・南相環 (2004) 『総合韓国語4』 白帝社
- 尹亭仁 (2005) 「韓国語と日本語のヴォイス構文に関する対照研究—動作主の格標示と構文の生産性を中心に」、東京大学大学院総合文化研究科博士論文
- 尹亭仁 (2019) 「韓国語の漢語動詞の語彙調査 (2) —『李箱文学賞作品集2006-2015』の分析を中心に—」 『神奈川大学言語研究』 41、pp. 1-30、神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2020) 「韓国語の漢語ヴォイスの語彙調査—金薫の散文『鉛筆で書く』(2019)にみる漢語ヴォイスの使用状況—」 『神奈川大学言語研究』 42、pp. 1-26、神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2022) 「日本語母語話者に韓国語の2字漢語動詞を体系的に提示するための取組みについて」 『人文学研究所報』 67、pp. 103-119、神奈川大学人文学研究所
- 尹亭仁・車香春 (2014) 「韓国語と日本語の2字漢語動詞に関する一考察—韓日辞典に見られる異同を手がかりに」 『神奈川大学言語研究』 36、pp. 1-24、神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁・崔英姫 (2018) 「韓国語の漢語動詞の語彙調査 (1) —『中央日報』の社説(2016年1~12月)の分析を中心に—」 『神奈川大学言語研究』 40、pp. 129-151、神奈川大学言語研究センター

**【辞書類】**

〈日本語〉

尹亭仁編 (2009) 『デイリーコンサイス韓日辞典』 三省堂

〈韓国語〉

国立国語研究院 『標準韓国語大辞典』 (インターネット版)

李基文監修 (1989/2003) 『東亜新国語辞典』 第5版 東亜出版社：ソウル

**【新聞】** 『中央日報』 「社説」 (2016-2020) 中央日報社：ソウル

**【小説】** 『李箱文学賞受賞作品集』 30年 (1986-2015) 文学思想社：ソウル